

Rotary

Rotary International District 2570
GOVERNOR's Monthly Letter

2021-2022年度 ガバナー月信Vol.8/2月号

2

February 2022



平和構築と紛争予防_{月間}



SERVE TO CHANGE LIVES

「地区スローガン」
もっと夢を もっと奉仕を
More dreams More service

Governor's Message



ガバナーメッセージ



水村雅啓

Masahiro Mizumura

入間

2021-2022年度国際ロータリー
第2570地区ガバナー

ガバナーメッセージとして、折節に
思う事柄を書かせていただきます。
少しでも皆さんの胸中にたぐりを感じ
るような発信をしていきたいと思
います。

2月23日は、ロータリーの創始者・ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合をもった日です。開拓時代の米国。シカゴの町で孤独感強まるポールは「友人が欲しい。お互いに心を許しあい、語り合える友を作りたい」と考えました。今月は、100年以上も前、集まった4人の男たちの熱き心に想いをはせてみませんか！



ポール・ハリス Paul P. Harris

ロータリーの創始者、職業は弁護士。1868年4月19日、米国ウィスコンシン州 ラシーンに生まれる。1907年にシカゴロータリークラブの会長となり、1910年には全米ロータリー連合会を設立し会長となる。1947年1月27日79歳で逝去。

ロータリー創立記念日

1905.2.23

1905年2月23日の午前、シカゴ市にある鉱山技師のガスターバス・ローアの事務所でローアと彼の友人の洋服商ハイラム・ショーレーが世間話をしていました。昼を少し過ぎた頃弁護士のポール・ハリスが、彼

の友人である石炭商のシルベスター・シールを伴って訪ねて来ました。まさにロータリーが創立された「その日」です。

ロータリー創立の日となった最初の4人の集まりで、ポールは幼年期から青年となるまでに経験した故郷の豊かな人情について語り、同じように田舎出身である3人の友人に対して、友情こそ人生における最も貴重なものであることを力説し、他の3人もまたこのことに全面的に賛成したといわれています。この時のポールの話 요약すると、大体右のようなことであつたと思われます。

ポールと3人の創始者。左より、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム E. ショーレー、ポール P. ハリス。





シカゴ郊外のマウントホープ墓地にある
ポールの墓(左)と碑(中)。遺言によっ
て、終生の友でありロータリー運動の良
き理解者だったシルベスター・シールの
隣に眠る。

ポールは1935年来日し、
帝国ホテルの庭に月桂樹を
記念植樹した。



- ❖ クラブの会員は1職業につき1名に限る、
同業者が2人以上になると競争意識が働いて仲良くなりにくい。
- ❖ 会員はお互いに他の会員の商売が盛んになるように助け合うことにする。
- ❖ 会員はお互いに兄弟親類のつき合いをするように、親睦を第一に考える。

第2回目の会合は、2週間後の3
月9日ポールの事務所で、第3回目
は3月28日、シルベスターの事務所
で開催され、第3回目の会合の時に
規約を作り、会長にシルベスター、
記録幹事にショーレー、通信幹事
にジェンソン、会計にラグラスが任
命されました。

情熱が溢れる創成期には、勢い
があるな！と感じます。100年経っ
て、組織も複雑になってしまった「ロ
ータリー」ですが、私は純粋に「仲
間をつくり、有意義な時を過ごす」
ことを信条にしたいです。

ポールは言っています。



友情をはぐくむ機会を無駄にすることは、
海にダイヤモンドを捨てるより愚かなことだ。

*To waste one's opportunities to cultivate
neighborliness and friendship is more foolish than
to cast diamonds into the sea.*

SEMINAR REPORT

国際奉仕委員会
ロータリー財団委員会 合同セミナー

国際奉仕委員会が行う「事業」とは

文：田島博夫 Hiroo Tajima 行田さくら 地区国際奉仕委員会 委員長



今

年度もまた新型コロナウイルスの影響で年当初考えていた事業が計画倒れになっていました。例年8月末開催の部門セミナーにおいてもコロナ禍で延期のやむなきを得ました。ガバナーの目標の一つに地区委員会の合同による例会やセミナー開催がありました。地区の委員会として情報共有・情報交換が目的となり、互いに理解が出来る状態の創造を期待してのことでした。念願になって、本年度は国際奉仕委員会とロータリー財団委員会とのコラボのセミナー開催が出来ました。

過去、国際奉仕委員会は支援金の拠出として、第4グループの書き損じはがき回収による資金に、他グループの会員1名あたり2,000円の拠出をいただいた資金合算で奉仕事業を行ってまいりました。元々は「世界寺子屋運動」に流れを汲んだもので、途上国への学校建設が主な目的でした。支援先が日本ユネスコから埼

玉ユネスコに変わり、やがては仲介者無しに直接支援に変わってまいりました。しかし支援金なるものの考え方に若干の齟齬が有、支援事業の資金は財団からのDDF（地区財団支援金）やWF（国際財団支援金）を利用すべきとの考えから、本来国際奉仕はどのような流れをもって各クラブに情報提供すべきかを考えるきっかけとして、財団の動きを確認すべく合同のセミナーを開催するに至りました。

本来、「地区は事業をしてはいけない。クラブ支援に徹すべき」という考えを叩き込まれた私にとってはこれに矛盾を感じており、そこに一筋の光明を見た感がありました。とはいえ各クラブをまとめた形の委員会でないといけない事業は多くあり、青少年や米山記念奨学、財団留学生など、地区が主導しての活動は多くあります。がしかし国際奉仕においては、我々の持っているあるいは我々に届いた情報をもってク

ラブを支援する、いわゆるコーディネートをするところ、本来我々国際奉仕委員会が行う事業であると思います。資金はロータリー財団に申請し対応を願う。こんな流れであるべきと考えております。

セミナーの中身は国際奉仕委員会の過去の支援におけるきっかけと現状報告。ロータリー財団委員会はWF案件の実施状況報告でした。現在は支援の依頼が直接ロータリー財団あるいは過去に行った支援の関係者に届いてしまっているのが現状ですが、少し役割の分担が必要かと思いました。いずれにしても過去からの流れを急には変えられないところも有りますが、RIの方針に沿った形を目指したいと思っています。

コロナ禍の中、ハイブリッド方式開催で少々不手際がありましたことお詫び申し上げます。

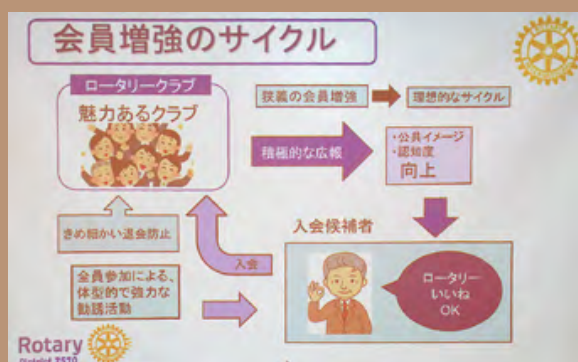
（2021年11月28日（日）紫雲閣にて開催）

SEMINAR REPORT

会員増強セミナー

活力有る強いクラブに人は集まる

文:井上博司 Hiroshi Inoue (行田さくら) 会員基盤向上委員会 委員長



▲▼会場上映のスライドより

活

力有る強いクラブを作るには、
会員増強が必須条件となります。
そして強いリーダーが求められます。

尚、各クラブ共きっとどこか良い所、
他クラブより強いものを持っているはずで
す。その各クラブの異なる良いところ、又
は強いところを掛け合わせる中でクラブを
挙げて各会員より大きな価値を提供出来
るクラブへと変革していく事を目指しましょう。

その為には、会員一人一人が、奉仕
活動の主役となって、その活動を実践出
来る様な、活力有る強いクラブへと生ま
れ変わらなければなりません。それは、全
ての会員が日々、元気に、やがて、そし
て、生き甲斐を持つての行動を、そし
て奉仕活動等に専念するという、心構え
が必要です。その事が個人の成長に、
ひいてはクラブの発展に繋がる事と信じて
おります。そして、新たな奉仕活動を仕
掛ける時、それらを細分化する事で会員



に取っての活動を身近なものとし、どの様
な小さな奉仕活動でも経営感覚を持って
動ける会員を育ててゆくと良いでしょう。そ
れは大きなクラブで有っても小さなクラブ
でも活力を失わず会員の力を十二分に生
かして行く事が求められるのです。そして、
この自主責任体制はクラブの発展、向
上の為の原動力と成ってゆく事でしょう。

この様にしてクラブ組織を活性化し、
皆が生き生きと行動出来る為には、会員
に対してどんなメッセージをし、何を実践
してきたのか？ 等々…

更には組織のリーダーに何を望んでい
たのかを、自分自身の言葉やエピソード、
更には表彰を受けた事の有るPGや、他

のリーダー等々の卓話を紹介し各クラブ
の例会場に展示すると良いでしょう。それ
らが、会員増強をする為の!! 良作と考
えます。

皆で活力の有る強いクラブ作りを目指
そうでは有りませんか。第2570地区を、
より強くする為にも会員増強に最大限の
力を注ぎましょう!! 水村雅啓ガバナー
が皆さんに申し上げております通り純増2
名以上を目指し会長・幹事様と共に皆
で頑張ろうではありませんか。

(最後に、米国第35代大統領の言葉
をお借ります。)

**あなたのロータリーが
貴方に何をしてくれるかを
問わないで欲しい!!**

**貴方が
あなたのロータリーに
何ができるかを
問うて欲しい!!**

(2021年12月12日(日)紫雲閣にて開催)

米山記念奨学委員会

★第2回カウンセラー会議 ★奨学生企画運営クリスマス会



2021年12月5日（日）に2021-2022年度 国際ロータリー第2570地区「ロータリー米山記念奨学委員会第2回カウンセラー会議、及び、米山記念奨学委員会クリスマス会」がアルカーサル迎賓館川越にて執り行われました。会場に入る前に参加者はエントランスで抗原検査キットを受け取り新型コロナウイルスの簡易検査を行い陰性を確認し場内へ。渡邊委員長の司会進行により加藤玄静バスターガバナーの挨拶に続き出席者の自己紹介と現状報告が行われました。自己紹介に関してはそれぞれクラブ名とお世話をしている奨学生の紹介がなされ、続いてカウンセラーとして奨学生とのやり取りやクラブでの現状報告が順次に行われました。緊急事態宣言中は例会も開くことが出来なかったのも、奨学生への奨学金受け渡しは振り込みをしたクラブが多かった事。また、毎週行っていた例会は月2回や1回に減らしたりしてコロナ禍での対応をしているそうです。中にはコロナ禍でも毎週欠かさず例会を行っているクラブもあり、奨学生には受付もお願いしているクラブもありました。

続いて奨学生についての報告があり、夏に薄着で富士山に登ったり、クラブの親睦



文：一柳 達朗 入間
Tatsuro Ichiyanagi

旅行に参加したり、あごが外れて人生で初めて自分で救急車を呼んで病院に行ったりと色々なエピソードがカウンセラーから出て、それぞれコロナ禍でも奨学生とのコミュニケーションを取られていることが分かりました。最後に地区への要望として出されたのが「奨学生には「自分たちはお客様」ではなく奨学金を頂く身。支給される第一例会には早く来て例会の準備を手伝い、ロータリアンとの接触の場にするように啓蒙して欲しい」「お世話したクラブが日本のロータリーだと思われぬように他クラブにも行って交流できるようにして欲しい（近隣クラブとの交流）」「卒業した奨学生は全て学友に入会して欲しい」「卒業しても定期的に連絡を取り、交流して欲しい」など色々な意見が出ました。

会議後は、奨学生達が全て企画運営する「クリスマス会」が執り行われました。開会の宣言がなされ日頃の感謝の言葉が奨学生からあり乾杯へ。初めは比較的静かでしたが段々と各テーブルから話

し声が聞こえてきて和気あいの雰囲気。奨学生が考えたゲームは米山記念奨学会に関係するメンバーの顔写真を用いた神経衰弱。各テーブル番号が振られ順番にパネルをめくる。めくって顔が合うと1ポイント。クイズが設定されている物をめくり、クイズに答えられると2ポイント追加という具合でゲームが進みました。各テーブルみんなが頭を抱えて頑張っていました。顔が揃うと歓声が上がり、選ぼうと思っていたカードを取られると「あ～取られた」とテーブルから声が漏れるのも面白かったです。その後、奨学生によるダンスや楽器の演奏、歌のパフォーマンスが行われ奨学生一人ひとりに感謝の言葉が出席者へ送られプレゼント交換。最後に写真撮影が行われ楽しいクリスマス会は終わりを告げました。このコロナ禍で中々奨学生達も集まったりすることが難しい中、これだけ楽しい企画を考え実行してくれたこと感謝の言葉しかありません。楽しい時間をありがとうございました。





【地区スローガン】

もっと夢をもっと奉仕を
More dreams More service

ガバナー公式訪問

11/19 狭山中央 R.C.

会長 菊田 邦彦
幹事 小林 奈保江

水村雅啓ガバナー、和泉由起夫ガバナー補佐、忽滑谷明地区幹事の3名をお迎えし、コロナ非常事態宣言解除後日程調整に苦慮しましたが、ガバナー公式訪問を実現させることができました。例会に先立ち、会長・幹事・入会3年未満の会員2名での懇談が行われ、それぞれ入会の動機、RCでの活動報告がされた後、例会会場に移り全員で記念写真。例会開催、ガバナー補佐よりガバナー紹介でロータリーの心について卓話をいただき、ガバナーから入間市狭山市の合併が実現できず残念に思う事、入間RCが埼玉で3番目に古い事を語られ、狭山中央RCと新狭山RCが合同で社会奉仕活動とし



て、中学生作文コンクールを開催している事、当クラブの女性会員の多さによるパワーの力強さ、米山留学生対応、1泊での親睦旅行等、活力あるクラブとの講評をいただき、充実した公式訪問を終りました。



狭山中央 R.C.

11/24 熊谷東 R.C.

会長 野澤 正春 幹事 清水 利夫

当クラブ例会場（熊谷流通センター）に水村雅啓ガバナー、岡部俊之ガバナー補佐、忽滑谷明地区幹事の3名をお迎えし、公式訪問例会が行われました。

例会に先立ち、11時30分からガバナー

と会長・幹事との懇談会、12時から入会3年未満の寿谷光洋会員を含めた懇親会が行われました。特に、寿谷会員に対しては、ガバナーから暖かいお言葉がかけられ、寿谷会員からはロータリーに

入って良かった具体的な感想が述べられました。

例会の卓話では、入間クラブの紹介が行われ、大宮クラブの子クラブとして創立されたこと、創立から60年以上となること、繁田、石川各ガバナーに続き水村ガバナーが3人目であることなどが説明されました。

引き続きクラブ協議会が行なわれ、浅井純次会員をリーダーとして、「ロータリーをもっと知るためには」をテーマとしてセッションが行われました。

今回の公式訪問では、日程変更も調整していただき、とても有意義な時間となりましたこと、感謝申し上げます。



Governor's
Official
2021-2022

熊谷東 R.C.

お詫びと訂正

1月号におきまして、飯能・日高R.C.合同の会長・幹事の欄に一部記載漏れがございました。関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。 飯能R.C. 会長 高橋 弘様／幹事 大野 康様、日高R.C. 会長 町田 秀雄様

希望の風チャリティー講演

私たち大人には、すべての子どもたちを
笑顔に、幸せにする
義務がある。

繁華街をさまよう少年少女たちと向き合う
夜回り先生

み す た に お さ む

水谷 修氏

3月11日 金

無料

PROFILE

1956年、横浜に生まれる。少年期を山形にて過ごす。上智大学文学部哲学科卒業。横浜市にて、長く高校教員として勤務。12年間を定時制高校で過ごす。教員生活のほとんどの時期、生徒指導を担当し、中・高校生の非行・薬物汚染・心の問題に関わり、生徒の更生と、非行防止、薬物汚染の拡大の予防のための活動を精力的に行なっている。また、若者たちから「夜回り」と呼ばれている深夜の繁華街のパトロールを通して、多くの若者たちとふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組んでいる。一方で、全国各地からのメールや電話による様々な子どもたちからの相談に答え、子どもたちの不登校や心の病、自殺などの問題に関わっている。その現場での経験をもとに、専門誌や新聞、雑誌への執筆、テレビ、ラジオなどへの出演、日本各地での講演などを通して、子どもたちが今直面している様々な問題について訴えている。現在、花園大学客員教授。

受付

18:00

開演

18:30

会場

本庄市文化会館ホール

埼玉県本庄市北堀1422-3 TEL.0495-24-2841

主催

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会
国際ロータリー第2570地区青少年奉仕委員会
本庄ロータリークラブ

問合せ先
(事務局)

〒367-0041 埼玉県本庄市駅南2-2-1 埼玉グランドホテル本庄700号
TEL:0495-22-7522 FAX:0495-22-3571 E-mail:honjorc7522@gmail.com





もっと夢を もっと奉仕を

More dreams More service

2021-2022年度
国際ロータリー第2570地区

地区大会



奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

2022年3月26日(土)・27日(日)

会場：川越プリンスホテル／ウェスタ川越

ガバナーあいさつ

国際ロータリー
第2570地区ガバナー

水村雅啓

(入間ロータリークラブ)



参加者の皆様

本年度の地区大会は、コロナ感染症に対する安心安全を優先し、時間を短縮して地区内クラブの活動を紹介することに重きを置き開催することといたしました。

初日は大会決議とRI会長代理の晩餐会を開催、二日目はRI会長代理の現況報告、ロータリー奉仕デーの事業報告と青少年交換候補生、米山奨学生・学友の若い世代の活躍を紹介します。そして、各活動分野で今年度頑張ったクラブにガバナーズスペシャルアワードを贈ります。

今年度の大会テーマは地区スローガンと同じく「もっと夢を もっと奉仕を」としました。コロナ禍という制約された中でもロータリーを学ぶ機会を持ち、そこからビジョンを探り、それを奉仕という形に昇華する道筋を作っていきたいと思えます。この大会で少しでもロータリーの魅力とパワーを感じていただけたら幸いです。制約された中での開催となりますが、多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

3月26日(土)プログラム

◆本会議

- 14:00 登録開始
- 15:30 点鐘
大会決議・報告・採択
地区指導者育成セミナー
- 17:00 点鐘

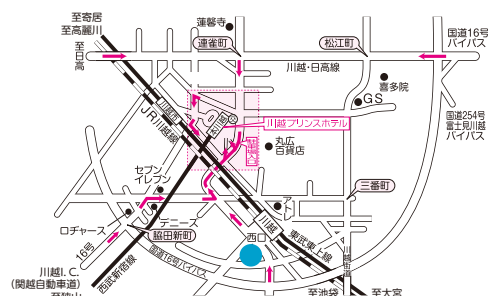
◆RI会長代理晩餐会

- 16:30 登録開始
- 17:30 開会
晩餐会 Jazz演奏
- 20:00 閉会

3月27日(日)プログラム

◆式典

- 12:00 登録開始
- 13:05 点鐘
RI会長代理メッセージ
ガバナーズスペシャルアワード発表
弦楽トリオ&ピアノ演奏
ロータリー奉仕デー 事業紹介
青少年交換候補生、米山奨学生 紹介
- 17:00 点鐘



会場案内

川越プリンスホテル

川越市新富町1-22 ☎049-227-1111

ウェスタ川越

川越市新宿町1-17-17 ☎049-249-3777

※2会場は徒歩圏内です。(約1.2km)



ホストクラブ：入間ロータリークラブ



第2570地区

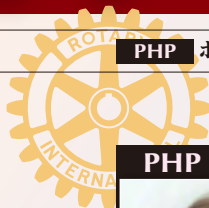
地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2-5-14 紫雲閣内

TEL 0493-21-2570 FAX 0493-21-2571

e-mail d-office@mail.rid2570.gr.jp

表彰



PHP ポール・ハリス・フェロー

MD メジアドナー

BF ベネファクター

米山 米山功労者

PHP



平岩敏和 所沢

PHP



矢部瑛美子 所沢

米山



倉方順司 所沢

米山



見澤英一 所沢

2570 インフォメーション

ロータリアン 叙勲者・褒章者紹介

令和3年秋の叙勲・褒章におきまして、第2570地区の3人の会員が受賞されました。それぞれ社会奉仕、職業奉仕を实践された輝かしい証です。心からお祝いを申し上げます。



立原 雅夫様

川越

旭日小綬章

川越商工会議所 会頭
立原電機株式会社
代表取締役

桃園西門RC(台湾)へ検診車寄贈(ロータリー奉仕デー)

グローバル補助金を活用して14クラブ(行田さくら・入間・熊谷・深谷・秩父・飯能・寄居・新座・吹上・加須・羽生・和光・和光21幸魂・2570パスポートRC)が合同で乳がん検診車を寄贈しました。

今回、コロナ感染症の影響で、寄贈式など訪台することはできませんが、出来上がった写真の検診車をご覧ください。

車両に取り組みクラブの名前がずらりと書かれています。



Commendation

MD



宮前英雄 (皆野・長瀬)

BF



池田敏和 (熊谷籠原)

新会員紹介

入 入会年月日 勤 勤務先 役 役職 生 生年月日 紹 紹介者



深谷ノース

水島章太
Shota Mizushima

入 2021年8月1日
勤 整体サロン 大空
役 院長
生 1992年8月25日
紹 平井博

梅澤 将明様

坂戸さつき

旭日双光章

埼玉県消防設備協会 会長
坂戸防災株式会社
代表取締役



宮前 守様

川越西

黄綬褒章

家の匠株式会社
代表取締役

地区社会奉仕委員会研修会開催(深谷市)

12月19日、地区社会奉仕委員会は、水村ガバナー、同夫人に参加頂き、総勢16人で渋沢栄一記念館等視察研修会を開催しました。現地では田中委員(深谷RC)、高田委員(深谷ノースRC)に解説を務めて頂きました。

天気にも恵まれ、お昼は地元深谷の名物「煮ぼうとう」を頂き、旧渋沢邸中の家(なかんち)、渋沢栄一記念館／渋沢栄一アンドロイド講義受講、尾高惇忠生家、大河ドラマ館を視察見学しました。

渋沢栄一アンドロイドが唱えた、道徳経済合一説「企業はお金をもうけることによって発展するのではなく世の中に善い行いをすることによって発展する」という教えはロータリーメンバーの心に深く染み入りました。



■ 会員数・出席率 (2021年12月)

	クラブ名	会員数									例会数	出席率	
		年初	12月末現在	12月入会数	12月退会数	本年度入会数	本年度退会数	12月度純増数	本年度純増数	女性会員12月末数		当月	通算
第1グループ (11RC)	川越	94	100	1	0	7	1	1	6	3			
	東松山	22	22	0	1	1	1	-1	0	1			
	小川	9	9	0	0	0	0	0	0	2			
	坂戸	31	30	0	0	0	1	0	-1	1			
	越生毛呂	14	14	0	0	0	0	0	0	1			
	川越小江戸	16	17	0	0	1	0	0	1	2			
	川越西	20	20	0	0	1	1	0	0	3			
	鶴ヶ島	26	26	0	0	1	1	0	0	2			
	川越中央	28	26	0	0	0	2	0	-2	0			
	坂戸さつき	21	20	0	1	0	1	-1	-1	4			
	東松山むさし	43	42	0	1	1	2	-1	-1	7			
	小計	324	326	1	3	12	10	-2	2	26			

第2グループ (7RC)	朝霞	25	24	0	1	0	1	-1	-1	1			
	志木	42	42	0	0	0	0	0	0	2			
	富士見	37	35	0	2	0	2	-2	-2	0			
	新座	26	25	0	0	0	1	0	-1	2			
	和光	12	14	0	0	2	0	0	2	7			
	朝霞キャロット	10	10	0	0	0	0	0	0	0			
	新座こぶし	9	9	0	0	0	0	0	0	2			
	小計	161	159	0	3	2	4	-3	-2	14			

第3グループ (11RC)	入間	36	37	2	0	2	1	2	1	2			
	所沢	55	59	1	0	4	0	1	4	4			
	飯能	70	69	0	0	0	1	0	-1	1			
	新所沢	21	20	0	0	0	1	0	-1	2			
	日高	18	18	0	0	0	0	0	0	3			
	所沢西	34	34	0	0	0	0	0	0	4			
	新狭山	19	19	0	0	0	0	0	0	0			
	所沢東	45	46	0	0	2	1	0	1	1			
	入間南	43	43	0	0	0	0	0	0	0			
	所沢中央	20	20	0	0	0	0	0	0	1			
	狭山中央	21	20	0	1	0	1	-1	-1	6			
	小計	382	385	3	1	8	5	2	3	24			

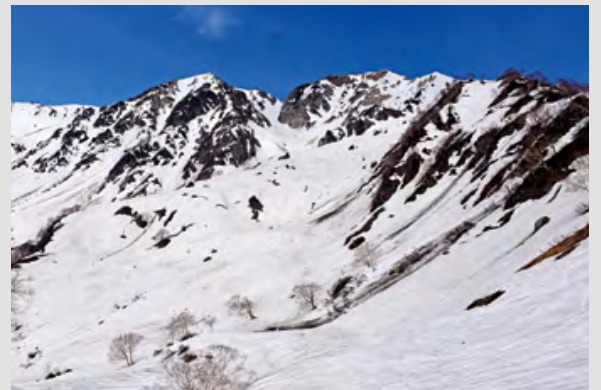
第4グループ (11RC)	深谷	56	54	0	2	0	2	-2	-2	10			
	本庄	76	76	1	0	2	2	1	0	4			
	秩父	48	49	0	1	2	1	-1	1	1			
	寄居	30	32	0	0	2	0	0	2	0			
	児玉	3	3	0	0	0	0	0	0	0			
	岡部	14	14	0	1	1	1	-1	0	1			
	深谷東	65	69	0	0	4	0	0	4	0			
	川本	5	6	0	0	1	0	0	1	0			
	皆野・長瀬	10	10	0	0	0	0	0	0	0			
	2570パスポート	2	3	0	0	1	0	0	1	2			
	深谷ノース	29	28	0	1	0	1	-1	-1	1			
	小計	338	344	1	5	13	7	-4	6	19			

第5グループ (10RC)	熊谷	89	91	0	0	3	1	0	2	3			
	行田	58	59	0	0	1	0	0	1	5			
	羽生	43	44	0	0	2	1	0	1	4			
	加須	26	26	0	0	0	0	0	0	0			
	熊谷西	9	9	0	0	0	0	0	0	0			
	行田さくら	54	56	0	1	3	1	-1	2	2			
	熊谷東	24	23	0	0	0	1	0	-1	2			
	吹上	7	6	0	0	0	1	0	-1	2			
	熊谷籠原	27	27	0	0	0	0	0	0	0			
	熊谷南	22	22	0	0	0	0	0	0	3			
	小計	359	363	0	1	9	5	-1	4	21			

50RC	男性会員数	1464	1473	5	12	38	29	-7	9				
	女性会員数	100	104	0	1	6	2	-1	4				
	合計	1564	1577	5	12	44	31	-8	13				

■ スケジュール (2022年2月-3月)

	日時	担当委員会名	内容	場所
2月	3日(木)	青少年奉仕委員会	節分祭・オリエンテーション	国立女性教育会館
	11日(金)	第5グループ	インターシティーミーティング	川越プリンスホテル
	19日(土)	ロータリー財団	2770地区合同・財団勉強会③	
	19日(土)	第4グループ	インターシティーミーティング	
	20日(日)	第1グループ	インターシティーミーティング	紫雲閣
	26日(土)	第2グループ	インターシティーミーティング	アルカーサル迎賓館川越
	27日(日)	第3グループ	インターシティーミーティング	ヘリテージ飯能
3月	5日(土)	2570地区	地区チーム研修セミナー	ウエスタ川越
	6日(日)	米山記念奨学会	2021年度奨学生修了式・歓送迎会	アルカーサル迎賓館川越
	8日(火)	2570地区	地区大会記念チャリティーゴルフ	武蔵CC豊岡コース
	11日(金)	R希望の風	希望の風チャリティー講演	本庄市文化会館ホール
	12日(土)	ロータリー財団	財団セミナー・補助金管理セミナー	ウエスタ川越
	〃	RLI担当	DL養成セミナー	
	13日(日)	青少年奉仕委員会	オリエンテーション	
	〃	社会奉仕ブライダル	カップリングパーティー	
	26日(土)	2570地区	地区大会	川越プリンスホテル
	27日(日)	〃	地区大会	ウエスタ川越



表紙：白馬岳 (2,932m)

白馬岳は、槍ヶ岳とともに北アルプスで登山者の人気を二分している山である。南北に連なる後立山連峰の北部にあって、長野・富山両県、実質的には新潟を加えた3県にまたがっている。私は、白馬大雪渓から登攀し、白馬大池、樽池自然園と下った。夏とはいえ、天候が悪化し雪渓の登山は手が凍りつくようにキツかった。頂の展望盤は、新田次郎の小説『強力伝』に登場することで知られる。山荘での生ビールが美味かった！(水村)

ガバナー月信 2月号

2021-2022年度 Vol.8

2022年2月1日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号
ガーデンホテル紫雲閣内

[TEL] 0493-21-2570

[FAX] 0493-21-2571

[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp

[web] https://www.rid2570.gr.jp

[月信原稿送信先]

info2021@rid2570.gr.jp

ガバナー月信編集委員会 委員長 滝沢文夫